

佐賀県技術系職員の紹介 (農政職・農業職)

地元貢献×農業に関わる仕事



令和7年5月
佐賀県 農林水産部

佐賀県での農業の位置づけ

☆土地面積に占める耕地面積の割合（令和6年）

耕地面積：49,600ha

⇒県の総面積の20.3%を占め、全国平均の**約2倍**

☆県内総生産（名目）に占める農業生産の割合（令和4年）

農業生産：670億円

⇒県内総生産の2.1%を占め、全国平均の**約2倍**



☆県の総世帯に占める総農家数の割合（令和2年）

総農家戸数：18,645戸

⇒県の総世帯数の5.9%を占め、全国平均の**約2倍**

全国に誇る佐賀の農産物



佐賀牛
大阪中央卸売市場
への和牛出荷頭数
全国1位
(R5年度)



新品種
「にじゅうまる」
R3年デビュー



ハウスミカン
出荷量全国1位
(R5年産)



米の食味ランキング
「さがびより」15年連続
特A評価
(R6年産)



新品種
「いちごさん」
H30年デビュー



ハウス幸水なし
出荷量全国1位
(R6年産)



たまねぎ
出荷量都府県1位
(R5年産)



二条大麦
収穫量全国2位
(R6年産)



アスパラガス
出荷量都府県2位
(R5年産)



れんこん
生産量全国2位
(R5年産)



整備された水田
(平坦地域)



共同乾燥調製貯蔵施設

整備された生産基盤を活用
耕地利用率133.3%
38年連続全国1位!
(R5年)



世界にも展開する佐賀の農産物

世界各地への売り込み

現地スーパーで定着（香港）



香港のスイーツ店との連携(R6)



いちごさんフェア（R6）



ワシントンD.C.で佐賀牛プロモーション(R6)



にじゅうまるフェア（R6）



私たち農政職・農業職は何を目指して働いているのか？

磨き、稼ぎ、未来へつながる さが農業・農村の実現

1 磨く

収量・品質の向上や経営の規模拡大・多角化等により経営力を「磨く」

2 稼ぐ

経営力を向上し、農業に魅力を感じるよう他産業以上の所得を「稼ぐ」

3 未来へつながる

「稼ぐ」農業者が増加することで産地や農村が活性化し、新たな担い手が続いていくことで、さが農業・農村が「未来へつながる」

農政職・農業職の仕事

佐賀県の農政職・農業職では、次のことに取り組んでいます。

産地・人材を育てる

農業や農村を守る

新しい品種・技術を創り広げる



農政職・農業職の仕事

農政職

1. 農政事務（本庁・農業振興センター農業企画課）

生産振興に向けた**運動の展開**や**補助事業による支援**、**研修会の開催**などを通し、生産者の所得向上や産地・農村の発展を支援

2. 普及指導員（農業振興センター普及課）

生産者の所得向上や産地の発展を図るため、生産現場に実際に出向き、試験場で開発した新品種や新技術などの**現地実証**や**普及**、**新規就農者の確保・育成**などを行う

3. 研究員（試験場）

稼げる農業の実現を目指し、**新品種の育成**や高収量・高品質となる**新技術の開発**等を行う

農業職

農林畜産分野の試験研究機関等において、試験計画に基づく圃場設計や試験研究の進捗管理などを行う

産地・人材を育てる

人を育てる



就農希望者向け研修拠点の整備



就農啓発セミナーの開催



新規就農者向け基礎講座の開催



農村ビジネスの成功事例の創出

産地・人材を育てる

産地を育てる



園芸団地の整備



米国やEUへの佐賀牛の輸出が可能となる食肉センターの整備



農福連携の取組の拡充



タマネギの機械化一貫体系の推進

農業や農村を守る

条件の厳しい中山間地域を守る



中山間地域の活性化に向けた集落戦略の話合い



棚田ボランティアによる保全活動

家畜伝染病から家畜を守る



家畜伝染病の予防のため畜産農家への衛生対策の指導

鳥獣から守る



集中捕獲キャンペーンの実施やイノシシ出没マップの作製



防疫演習の実施

新しい品種・技術を創り広げる

佐賀県が育成した新しい品種

「いちごさん」 (H30品種登録)



15,000株から選られ、平成30年秋デビュー
首都圏や香港でも積極的にPR



「にじゅうまる」 (H29品種登録)



20年以上の開発期間を経て、
令和3年2月10日（にじゅうまるの日）にデビュー
初セリでは20万円（8個入り）で落札！



新しい品種・技術を創り広げる

スマート農業技術の開発・実証



ドローンを用いた
水稲直播の試験



センシング技術等を活用した
生育状況の見える化の試験



「におい」や行動情報を活用
した発情検知技術の試験

新たな栽培技術の開発



アスパラガスの増収が可能な環境改善
技術の開発 (R2特許取得)



「いちごさん」の収量アップさせる
ためのCO2施用等の栽培試験

佐賀農業のトピックス

園芸産出額を伸ばせ！



さが園芸888運動
チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ

野菜、果樹などの園芸農業は、県の農業産出額の約半分を占める重要な部門。

佐賀県では、2017年時点の園芸農業産出額629億円を、2028年に888億円にすることを目指して

「**さが園芸888運動**」を展開中。



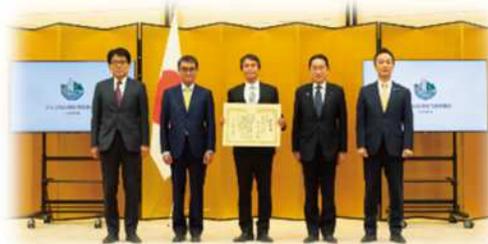
デジタルで技術継承！



全日本知事会最優秀賞 & Digi田甲子園2023準優勝
「匠の技」学習システム

匠（熟練生産者）の経験や勘に基づく優れた技術をデジタル化し、学習システムを開発。

システムを活用した繰り返し学習により、短期間で匠の技の習得が可能となり、新規就農者の生産性向上、産地の成長につながった。



「うれしの茶」をPR



令和6年度の全国茶品評会で日本一

「第80回全国お茶まつり」
令和8年度に佐賀県で開催

全国お茶まつりでは、全国の茶関係者が集い、その年のおいしいお茶を決める全国茶品評会のほか、表彰式などの式典、消費拡大イベントなどを開催。

イベントでは、佐賀県が誇る銘茶「**うれしの茶**」をもっと知って、飲んで、ファンになっていただくための企画を検討中。



佐賀県農政職・農業職のセールスポイント・強み

1 やりがいアップ！ あなたの成果が広がります。

- 新たに開発した品種や技術、新制度は広がってこそ意味があります。佐賀県では、県庁と生産者・JAとの関係性が深いので、県内に広がりやすい環境にあります。
※イチゴの新品種「いちごさん」……県内のイチゴのほぼ全面積が切り替え

2 スキルアップ！ あなたの学びを支援します。

- 行政職、普及職、研究職をジョブローテーションし、自分に合う職種を探すことができます（主に農政職）。
- 博士号の取得を支援する制度や国の機関等で研修するチャンスもあります（主に農政職）。
- それぞれの職種で研修を実施するため、必要なスキルを身につけることができます。
（新採普及員研修、研究員資質向上研修、農業職意見交換会など）

3 フォローアップ！ あなたの挑戦を後押しします。

- 若手職員が知事へ直接、研究成果等を発表する機会があります（他県ではあまり聞かない）。
新聞やニュース番組で報道されたり特集が組まれることがあります。

その他にも……

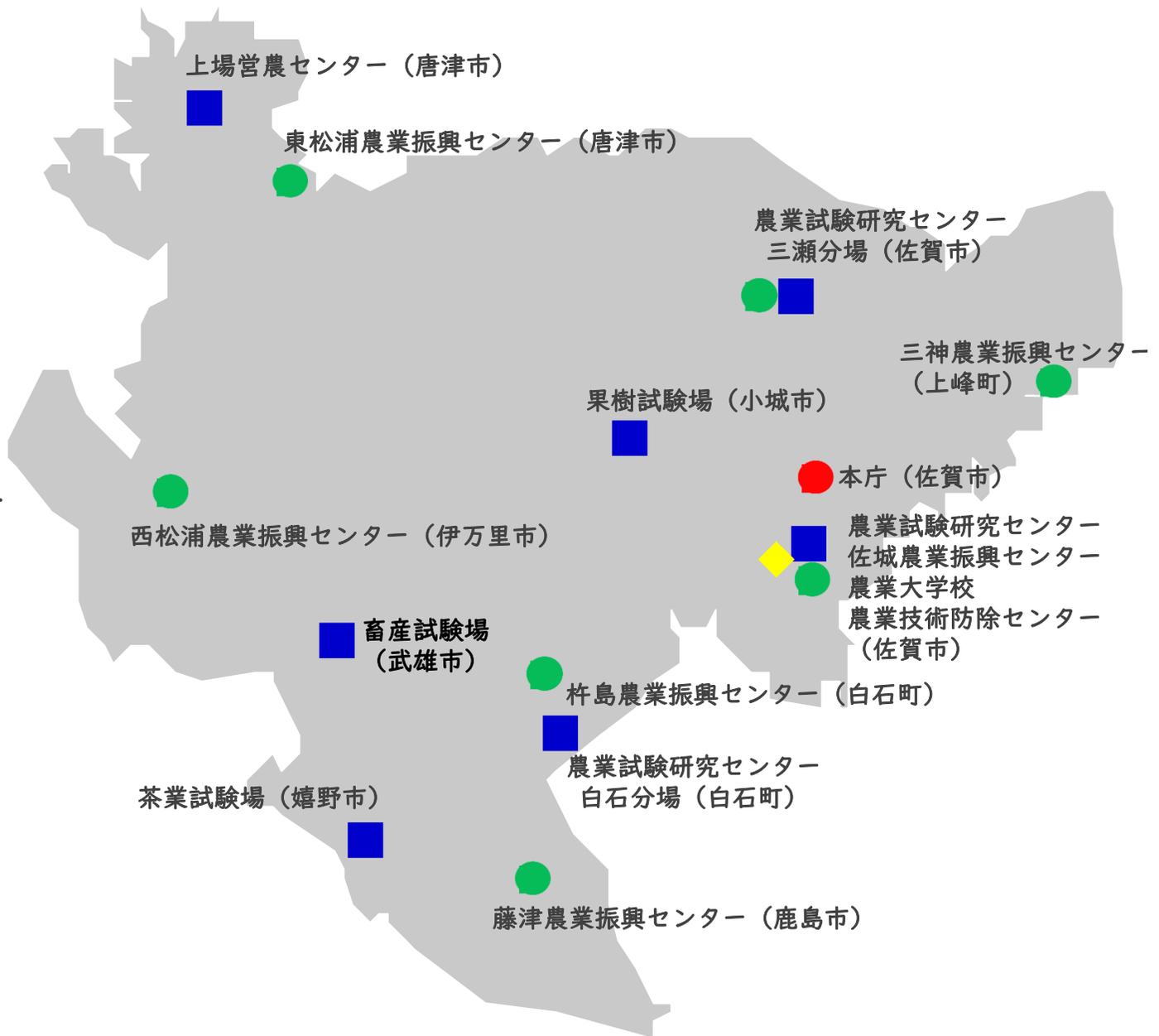
- ・ 部内は定年までの付き合いのため、アットホームな雰囲気。
- ・ 異動があっても県内どこでも通勤ができ、引越ししなくてよい場合がほとんど。
- ・ 福岡市に近く、田舎ののんびりした日常と、都会の刺激ある非日常を堪能できる。



主な勤務地

(本庁) ●
農政企画課、生産者支援課、
農業経営課、園芸農産課、
畜産課、流通・貿易課など

(現地機関)
● 農業振興センター (6か所)
■ 試験研究機関 (7か所2分場)
◆ 農業大学校、農業技術防除センター





皆さんと一緒に仕事ができることを
楽しみにしています！

